

次代を担う生徒たちの「志」を応援したい ～支援活動への思い～

数々の大ヒット曲を生み出し、現在もなお精力的に音楽活動・執筆活動を行っているさだまさしさん。
2015年に「風に立つライオン基金」を設立し、被災地の支援活動など社会貢献活動にも取り組んでいます。
その活動の柱の一つが「高校生ボランティア・アワード」。
生徒たちのささやかな志を応援するきっかけや、活動を通して感じたことなどを伺いました。



2018年10月にはデビュー45周年を迎えられるそうですね。おめでとうございます。さらに近年は被災地に直接赴いて、音楽を通じた支援活動を積極的に行っているという点も伺いました。気持ちをお聞かせください。

45年間、現役でいられたことはとてもありがたいことですが、何よりも、まだ最前線で戦えることの幸せを感じます。被災地に歌いに行く、たくさんの方が喜んでくださいます。多くのヒット曲を

作ってくださった皆さん、「さだまさし」を有名にしてくださいました。皆さんと一緒に被災地に応援に出かけていくという気持ちです。被災地に出かけて歌うことは、僕の大切な「使命」だと考えています。

ボランティア活動をする個人や団体を支援するという目的で、2015年に「風に立つライオン基金」を設立されました。設立に至った思いをお聞かせください。

「風に立つライオン基金」では、ボランティア活動に取り組む高校生を表彰する「高校生ボランティア・アワード」を2016年から開催していますが、高校生を対象とした理由をお聞かせください。

もっとも感受性の高い青春期の生徒たちが、それぞれの地域で「誰かの力になろう」と頑張っています。しかし地域の中で応援してくれる人は少なく、常に孤独感、不安感を感じながら取り組んでいる生徒が多いのではないのでしょうか。そういった生徒を大人で「褒めよう」というのが大きな目的です。生徒たちの「ささやかで偉大な活動」は褒めなければいけません。

「今年の「高校生ボランティア・アワード2017」には101校が参加しました。会場がさいたまスーパーアリーナだったこともあり、県内から多くの高校が参加しましたが、印象に残っている取り組みはありますか。

一校一校、工夫を凝らしていたので選ぶことは難しいのですが、地元の川越の魅力の世界に発信しようという星野高等学校や、地域パトロールを兼ねた清掃活動を行っている県立浦和高等学校定時制が印象に残っています。また、東北の復興支援活動を続けている県立本庄高等学校、本庄第一高等学校、県立栗橋北彩高等学校、県立川越総合高等学校の取り組みにも感激しました。一方で、世界に目を向けて活動する川口市立県陽高等学校やさいたま市立浦和高等学校も志の高い活動です。身近な地域の人々と体温を感じられる交流活動を続けている県立狭山緑陽高等学校も素晴らしい。また興味深かったのは立教新座高等学校です。立教大学と一緒に地域ボランティアを行う取り組みで、「大学生と連携する」ことで、活動の幅を広げられました。埼玉からは地元ということもあり、たくさん参加校があり、とてもうれしかったです。



シンガーソングライター、小説家
さだまさしさん
長崎市出身。1973年フォークデュオ・グレープとしてデビュー。1976年ソロシンガーとして活動を開始。「関白宣言」「北の国から」など数々のヒット曲を生み出す。通算4200回を超えるコンサートのかたわら、小説家としても「解夏」「風に立つライオン」などを発表。多くの作品が映画化、テレビドラマ化されている。またNHK「今夜も生でさだまさし」のパーソナリティとしても人気を博している。2015年8月、一般財団法人 風に立つライオン基金を設立(2017年7月、公益財団法人として認定)。様々な助成事業や被災地支援事業を行っている。

まだスタートしたばかりで完全な形ではありませんが、「風の団」に登録して下さっているのは、現在155人で、そのうち専門職は約70人。医師、歯科医師、看護師、介護福祉士、薬剤師、そのほか理学療法士や臨床検査技師などです。専門資格を要しない活動に従事する方が約

また、全国から高校生が集まって交流することで「これだけの仲間がいるんだ。自分たちは孤独ではない」という勇気を与えたい。さらに、頑張っている仲間を見て、「自分たちも、もう1歩、2歩、前へ出てみよう」というモチベーションにつながればという思いもあります。

若い世代のボランティア活動に期待されることは何ですか。

ボランティア活動に取り組むことで、「自分たちのまち」を、客観的に評価できるようになると思います。私は仕事で日本全国を訪れますが、地元の方から「ここは何もないところだから」という言葉を聞くことがあります。何かあるはずなのに気付いていない。そこを若い世代の皆さんが気付いて「大事にしよう」「広く知らせよう」という思いを抱いて一歩踏み出してほしいのです。

日本は人口の1割が東京に集中している一方で地方の過疎化が進んでいます。この両極化を食い止めるには、若者たちの地元意識をもっと大切にいくことが必要です。ボランティアの名を借りた「ふるさとおこし」につながっていくことを期待します。

最後に、ボランティア活動に取り組んでいる特に若い世代の方へメッセージをお願いします。

日本人にとって「ボランティア」の概念が大きく変わりつつあります。いわゆる「慈善活動」という力みがなくなり、「自分にできることをする」のは当然と考え、自然体でボランティア活動を行う若者

が増えてきました。また、以前は無償奉仕が当たり前でしたが、ボランティアの捉え方が広がってききました。ボランティア先進国に行く「This is Charity. But 3percent」という言葉があります。「これは慈善事業ですが、(事業を継続するために)売り上げの3%をください」という意味です。自分たちの知恵で活動するための資金をつかっていく。活動資金をガラス張りにすれば誰からも文句を言われることはありません。本来、そうあるべきですよ。

僕たちの財団もまさにそうです。皆さんの尊い寄付ですので、期待以上のことをしなければいけないと考えています。

志をもってボランティア活動に取り組んでいる若者たちは、社会人になったときも、その経験を地域で活かしてくれるはずですよ。10年後、20年後には地域のリーダーに育ってくれることでしょう。そのとき、この国はもっともつと良くなる。僕はそこまで期待しています。

高校生ボランティア・アワード2018
日付●8月21日(火)・22日(水)
会場●東京国際フォーラム・ホールE
<http://ボランティア・アワード.jp/>



テツ and トモ賞を受賞された星野高校の皆さん。

さだまさし45周年記念コンサートツアー
5月25日(金) 川口総合文化センター・リリア
チケット●8,640円(全席指定・税込)
3月31日発売
問い合わせ●チケットポート
TEL 03-5561-9001

Ready for
公益財団法人 風に立つライオン基金ではReady forでクラウドファンディングを実施しています。

介護用具販売
レンタル・販売
住宅リフォーム
デイサービス・ふあいん
手すり1本からお取り付けします。
介護保険対応のカatalogをお送りします。
「10月1日」は福祉用具の日です。
Silver
HOXON シルバーホクソン
〒332-0032 川口市中青木2-22-34
フリーダイヤル **0120-65-4649**
介護保険指定事業者番号1170200222

福祉用具貸与・販売 / 住宅改修
訪問介護サービス
家を助けて30年
福祉のニツカ
専門相談員が心のこもった相談に応じます
介護保険事業所番号 1171200213
日科ミクロン株式会社 0120-002940
三郷営業所 / 三郷市早稲田3-8-1
流山営業所 / 流山市平和台3-2-41
葛飾営業所 / 葛飾区亀有4-25-8
洗浄消毒センター / 三郷市早稲田8-25-6
産成ヘルパーステーション / 三郷市産成3-7-12-101
産成介護相談室 / 三郷市産成3-7-12-101
早期田介護相談室 / 三郷市早稲田3-8-1
本社 / 三郷市早稲田3-16-5

今月の「福祉を考える」はお休みします。